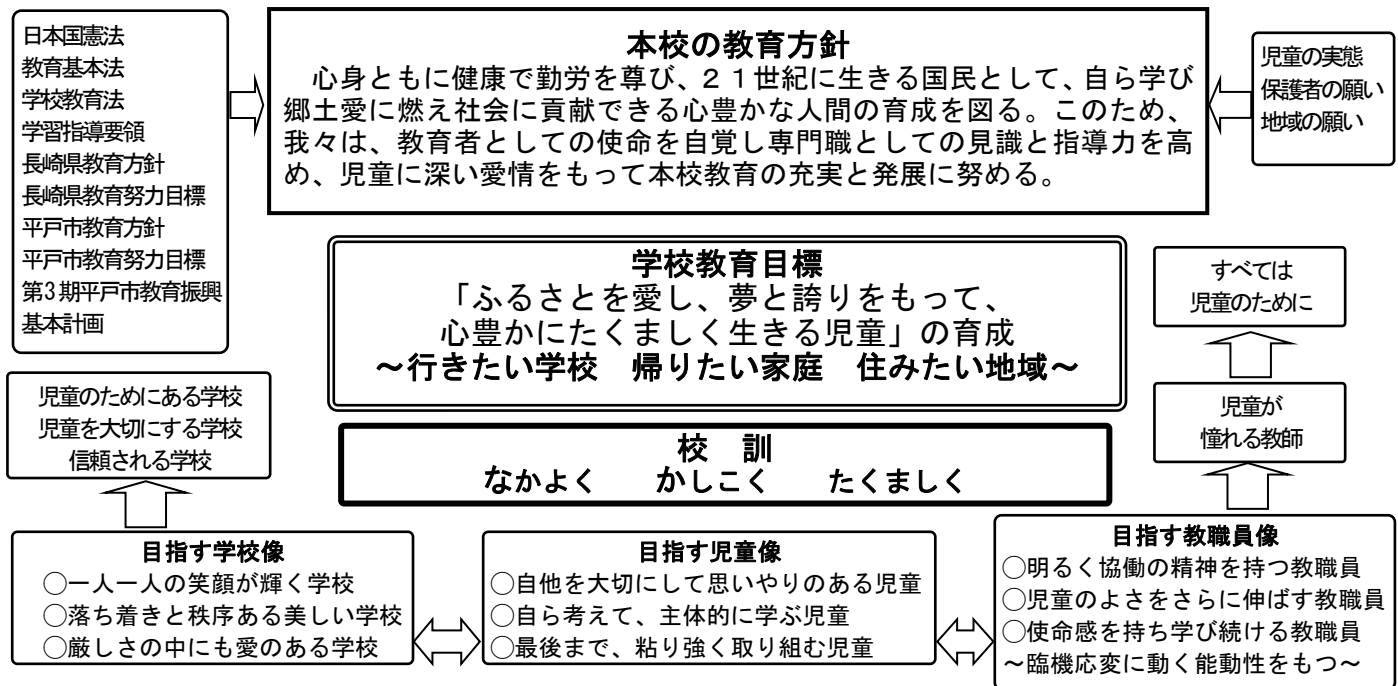


教育方針及び教育目標



令和7年度の努力目標「にこにこ はきはき どんどん」⇒「にこはきどん」		
自他を大切に思いやりのある児童（徳）「にこ」	自ら考えて、主体的に学ぶ児童（知）「はきはき」	最後まで、粘り強く取り組む児童（体）「どん」
○互いを認め合い、高め合う支持的風土にあふれた学級経営 ・年間を見通した学級づくり ・学級づくりを下支えする日常的な指導的評価活動の展開 ○特別支援教育の考えに基づいた教科及び生徒指導 ・落ち着いて学ぶ環境設定 ・個の特性に配慮した支援と指導 ○道徳授業の充実と深化 ・考え議論する道徳授業の実践 ・一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の充実 ○豊かな情操を育む体験活動の推進 ・栽培活動を通じた心の教育 ・ボランティア活動の推進	○一人一人の未来をひらく学力保障 ・主体的対話的で深い学びの推進 ・個に応じた指導の充実 ○思考力判断力表現力の向上 ・自力解決の場の設定や工夫 ・表現する場の設定とフォローの育成 ○協働的な学びの充実 ・グループ学習の意図的な設定 ・学び合いの定着と充実 ・ICTの効果的な活用 ○基礎基本の確実な定着 ・日常的なミライシードの活用 ・家庭学習の定着と充実 ・スキルタイムの工夫と有効活用 ・漢字学習の充実	○「元気」を下支えする心の醸成 ・心を養う読書活動の充実 ・心を整える清掃活動 ○体力の向上 ・体力向上プランの策定と活用 ・徒歩登下校及び外遊びの奨励 ○健康意識の向上 ・うがい、手洗いの徹底 ・早寝、早起き、朝ごはん ・メディアコントロールへの対応 ○安全・生活意識の向上 ・実践的な避難訓練の実施 ・挨拶、返事、靴並べの徹底 ・相手意識の強化によるコミュニケーションスキルの育成 ・「中野っ子のきまり」の実践

学校経営方針 【人間性と専門性の研修を基盤として組織力を高め、「信頼される学校づくり」を進める】

- 児童が成長実感に伴い、躍動する学校づくり（心の教育を大切にする）**
 - 児童の自己肯定感や自己教育力を高めるために、指導的評価活動の日常化を図る。
 - 特別支援教育の考えに基づいて、個の特性に配慮した支援と指導を行う。
 - 児童の心理的安全性の構築に向けて、互いに認め合い支え合う学年集団づくりを行う。
- 教師の専門性を生かした、共に高めあう学校づくり（知的好奇心を大事にする）**
 - 教育の専門家としての自覚を持ち、主体的に取り組む。（授業改善と業務改善）
 - 「自ら考えて、主体的に学ぶ子供」の育成に向け、校内研修を中心に組織的研究を推進する。
 - 「協働的な学び」を下支えする学年経営の在り方について校内研修を中心に組織的研究を推進する。
- 家庭・地域と共に歩み、開かれた温もりのある学校づくり（働く環境を整える）**
 - 地域の先人・地域人材・教材に学び、地域を知り、ふるさとに誇りをもつ活動を推進する。
 - 共に汗を流し、全職員の協働態勢で学校全体の教育力を高める。
 - 働きやすい環境づくりを推進するために、互いに尊重し協力し合う職員間の支持的風土を醸成する。